

## 欧州のバイオ燃料油事情



### BTL に力を入れる欧州の石油会社(その2)

#### Neste Oil のもうひとつの顔

フィンランドの国営石油会社 Neste Oil がこの 5 月に、国内で再生可能ディーゼル油(商品名は Neste Green diesel)の一般販売を開始しました。

同社の NExBTL プロセスで製造した再生可能燃料が 10%含まれています。

Neste Oil は、NExBTL プロセスで製造されるディーゼル油を「次世代バイオディーゼル油」と表現していましたが、従来のバイオディーゼル油と混同されることが多いため、2007 年春以降は「再生可能ディーゼル油」と表現しています。

### 他のバイオ燃料油も

2002 年から 2003 年にかけて、Fortum(Neste Oil の前身)および国営企業 Vapo が共同で、Porvoo 製油所に設置されたパイロットプラントで、森林の廃材などを原料にして「暖房およびボイラーに使用する燃料油」を製造しました。

Fortum、Vapo およびフィンランドの国立研究所「フィンランド技術研究センター」(略称 VTT)が共同で開発した急速熱分解技術の実証試験です。

国営エネルギー会社 Fortum は、1998 年に国営石油会社 Neste を子会社化し、2005 年に Neste Oil を分社化しました。

Vapo はいくつもの顔を持っていますが、現在は泥炭および森林の廃材などを用いた発電が事業の中心のようです。

Fortum はボイラーでの燃焼試験も行なっています。

試験結果は良好でしたが燃料の商品化は見送られました。

## そして BTL に

2007 年 3 月に、Neste Oil とフィンランドの世界有数の製紙会社 Stora Enso が、森林の廃材などから BTL (Biomass-to-Liquids) 燃料を製造する技術を共同で開発する契約を締結しました。

最初の取り組みは、Stora Enso の工場内に、熱、電気および BTL 燃料を製造する実証プラントの建設です。

製造された BTL 燃料は、Neste Oil の Porvoo 製油所に持ち込みます。

Neste Oil と Stora Enso は、折半出資の合弁企業 NSE Biofuels を設立し、同年 12 月には同国の産業省がこの実証プラントに補助金を出すことを決めました。

NSE Biofuels はこの 5 月に、実証プラントの主要部分のひとつである循環流動床バイオマスガス化設備およびその付帯設備を Foster Wheeler Energia (米国の大手エンジニアリング会社 Foster Wheeler のスウェーデン子会社) に発注しました。

計画は順調のようです。

## ひとこと

フィンランドでは森林の廃材が大量に副生します。

これをガス化して発電に利用するのか、あるいは BTL 燃料にするのか、議論が分かれると思います。

もちろん、石油会社は BTL 燃料を求めます。

(YY)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)